

2003年度 TDAテキスタイルデザインスクール
(第2期TDS)のご紹介

西日本スクール運営委員会

1. はじめに

初めてのTDSがようやく終了しました。この1年、参加された皆様、ご苦労さまでした。また、ボランティアとして講義していただいた講師の皆様、ありがとうございました。そして多くのいたらなかった点につきましては、ここにお詫びいたします。2期目のTDSをよろしくお願ひします。

■豊かな社会とは

現在の日本は大変な状態にあります。低迷する経済状況はもとより、今までの日本が目指し、築いてきた発展のシステムそのものが根本的に問いなおされようとしています。この発展のシステムは、言いかえれば「消費社会」を前提とした国民的な欲望喚起のシステムでもあるのです。そして「デザイン」はこのシステムの中で重要な役割を果たしてきました。ここで皆様にお聞きします。私たちが夢見た「豊かな社会」は、現在の豊かな日本の姿なのでしょうか？ 隣人の名前も知らないマンション生活。芸能界とグルメと旅の特集に明け暮れるメディア。地べたに座り込む若者。親が子を、子が親を殺せる人間関係。高齢化社会と名付けられた高齢者を排斥する社会。

一昔前と変らない新築マンションの間取り。30年程度の寿命しかない「仮設」住宅の街並み。コンクリートで固められた川岸。京都室町通に林立する雑多な外観のマンションなどなど。(書き出すときがありません…)このような「豊かな惨状」について、デザイナーには、そして私たち一人一人には責任はないのでしょうか。

■テキスタイルデザインの「今日」

現在の服飾ファッションから「柄」の魅力が消えてしまいました。その上、多くのファッション衣料が短期間に着捨てられます。その一方で、一度吊つたら10年かけ替えようとしないうカーテンの現状があります。日本人は戦後、住み方・暮らし方と言ったライフスタイルや秩序を持った衣生活を作り出せませんでした。このような状況もただ放置するしかないのでしょうか。

悪いことに現在の環境では、テキスタイルデザイン分野が縮小しつつあり、テキスタイル産業そのものが海外に、多くは中国に移り、私たちの活躍の場が縮小しています。その上、急激に変化する環境や産業界に対して今まで培ってきた知識・経験・姿勢・コンセプトなどが通用しにくくなりました。

教育の現場で言えば、通用しにくい知識やテクニックをこれからも伝え続けることが許されるのかという疑問が生じてきます。教育の現

場では、学生が産業界に歓迎されるよう、産業界の知識やノウハウを講義に導入する動きがあります。これは産業界における即戦力のニーズに応えようとするものでしょう。そしてこの動きはこれから正しい動きと言えるのでしょうか。

これからの産業界が本当に必要とするのは、即戦力ではなく「オリジナリティ」であり、「クリエイション」の能力ははずです。教育の現場では、産業界の知識に時間を費やすのではなく、「クリエイション」に費やす時間を増やしたらいいかがでしょう。共倒れを避けるためにも。

■テキスタイルデザインとは何か

大学の学部や講座に「テキスタイルデザイン」を探してみると、公立は工芸分野に、私立は産業界にと見事に二分されます。また、平面のプリントデザインや織・編からファイバーアートに至るまで、様々なテキスタイルデザインが見受けられます。現実の仕事や教育の中身から見て、私たちは「テキスタイルデザイン」をあまりに狭い範囲に押し込めすぎたようです。社会の流れが、細分化にあり、デザイン分野もご多分に漏れず細分化の道を歩んできたのですから当然なのですが…。それではこれからの「テキスタイルデザイン」とは一体何なのでしょう。

CGの発達に伴って印刷図案に関する作業を変えていき、取り込み、作成した映像をインクジェットやコンピュータジャカードが生地に直接定着させます。このような作業では、プリント下地となる素材を考慮することなくデザイン作業を完結することが出来るでしょうが、素材感から離れたままのプリントデザインは、グラフィックデザインと区別できるとは思えません。一方で注目したいのは、イッセイの「プリーズ・プリーズ」や「A-POC」ですが、ご存知ですか？これらの商品(作品)はテキスタイルデザインとコスチュームデザインの境界を曖昧にするものとして、これからの「テキスタイルデザイン」に重要な示唆を与えてくれます。

■おまけですが…

話は飛びますが、日本の行政における美意識のレベルの低さは憤懣ものです。(特に廉恥心とか身を律するとかの精神的な美意識の低いこと)国土開発・都市計画・街作り・産業界・厚生面・教育面など、日本の仕組みを形成する任を負った官僚の美的教養が高かったら、こんなことにはなるまいに…と思います。そこで提案を一つ。東大にファッション学やデザイン学の講座を作りましょう。とりえず官僚の卵たちの美的教養やプランニング能力を高めること。それに、巨大な経済行動原理であるファッションを無視して日本の消費経済は語れません。(そう思われませんか?)

TDAテキスタイルデザインスクール・カリキュラム

■教育プログラム

正規講座
3h/day
会員500
会費3000
学生講座
4h/day

5月10日			6月14日			7月12日			8月9日			9月13日		
テキスタイルデザインスクール1												*4h講座		
TDS 基礎講座 / 賛助会員向け												*TDS2-2		
繊維産業の現状			素材の基本的知識			現代のライフスタイル			卒業演習			集中講座 / 学生向け		
ファッション産業の現状			現代の合繊素材			テキスタイル MD			ファッション Tex. MD 演習			合繊素材の世界		
寝装インテリア産業の現状			現代の天然素材			インテリア Tex. MD			MD ゲームの進め方			天然素材の世界		
												クリエイションのための素材学		
												Cre. のための加工学		

7月 日
特別講座
工場見学
島精機

9月6日
*TDS2-1
集中講座 / 学生向け
F業界の構造
インテリア寝装業界構造
Tex. D の実務
プロのネットワーク

研究会
3h/day
無料

■教育プログラム

8月9日
研究会
TDAの役割

■受注プログラム

出張講座 MENU 1		
基礎講座1 / 賛助会員企業向け		
テキスタイル産業とは	現代素材論	ファッション社会論
ファッション・テキスタイル	合繊素材の世界	Tex. マーケティング
インテリア・テキスタイル	綿素材の世界	お気に召すまま

出張講座 MENU 2
基礎講座2 / 教育機関向け
繊維産業の構造
ファッション産業構造
インテリア産業構造